

乳酸菌とともに



掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 06 所在地別セグメント概況
- 07 連結財務諸表等
- 10 個別財務諸表等
- 11 商品紹介
- 17 ヤクルトのネットワーク
- 19 特集～創業75周年のあゆみ
- 21 会社情報

株式会社ヤクルト本社

第58期 株主通信

平成21年4月1日～平成22年3月31日

To Our Shareholders …… 株主の皆さまへ

ごあいさつ



株主の皆さまには、ますますご清祥のことと心からお喜び申し上げます。

ここに、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成22年6月 代表取締役社長

堀 澄也

ヤクルト企業理念

私たちは、生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

当期について

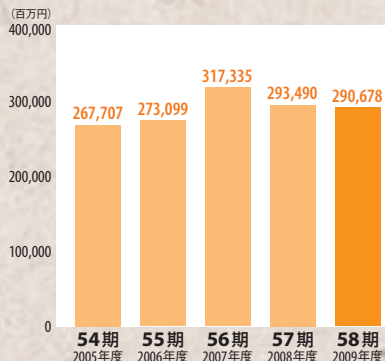
当期におきましては、前年度後半から続いた急激な景気後退が持ち直しに転じ、輸出や生産に回復の兆しが見られたものの、依然として雇用環境の悪化や個人所得の低下が続く厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の売上高は290,678百万円(前期比1.0%減)となりました。利益面においては、経常利益は24,724百万円(前期比2.5%減)、当期純利益は13,248百万円(前期比17.0%増)となりました。

連結業績ハイライト

●売上高



次期について

創業75周年を迎えるにあたり、『原点回帰』をキーワードに「予防医学」「健腸長寿」「誰もが手に入れられる価格で提供する」というヤクルト事業の考え方の普及を推し進めるとともに、「乳酸菌 シロタ株」およびさらに強化された「B.プレーベ・ヤクルト株（ビフィズス菌）」の価値訴求活動を、より強力に展開していきます。

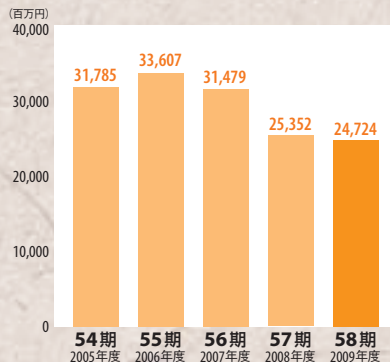
医薬品に関しては、がん化学療法剤「カンプト」「エルプラット」の適正使用を重視した販売活動を展開し、がん領域の特化に力を注ぎます。海外においては、「カンプト」の後発品との差別化を図るため、プラスチック・バイアル製品の販売強化に努めます。

化粧品については、カウンセリング型訪問販売に注力するとともに、販売チャネルや販売方法の多様化による売り上げ増大を目指していきます。

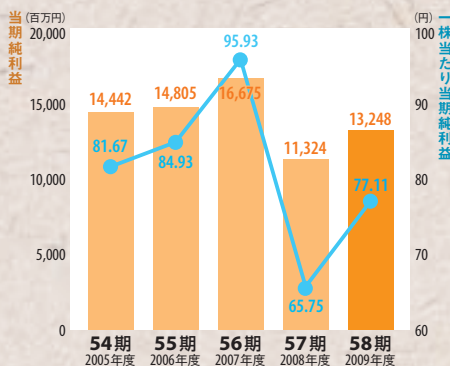
配当について

当社は、株主の皆さまに、より高いレベルで安定的な配当を実施していくことを最優先とするため、配当金額のペースを年額20円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当該期の業績等を総合的に勘案して配当金額を決定しています。平成22年3月期末の配当金については、上記の方針に基づいて普通配当10円とし、すでに実施している中間配当10円と合わせると、当期の1株当たりの配当金額は年額20円となります。また、次期の配当については、年額20円の普通配当に加え、平成22年度が当社グループ創業75周年を迎える年であることから、平成23年3月期末において1株当たり2円の記念配当を実施し、普通配当と合わせた1株当たりの配当金額を年額22円とすることを予定しています。

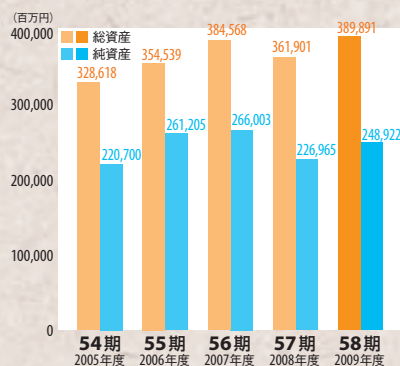
● 経常利益



● 当期純利益 / 一株当たり当期純利益



● 総資産 / 純資産



Financial Result by Segments

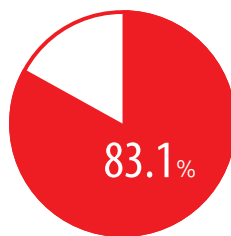
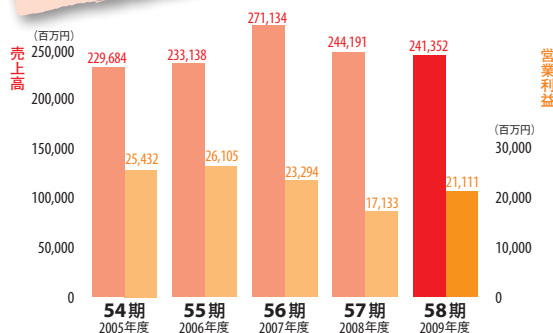
…… セグメント別業績概況

飲料および 食品製造販売 事業部門

当期

売上高 241,352 百万円
(前期比: 1.2% ↓)

営業利益 21,111 百万円
(前期比: 23.2% ↑)



売上高構成比

乳製品については、「乳酸菌 シロタ株」の価値訴求を徹底し、本年3月に当社独自のビフィズス菌「B.プレーベ・ヤクルト株」を利用したドリンクヨーグルト「ミルミル」を発売するなど、乳製品全体としては前期を上回る実績となりました。一方、ジュース・清涼飲料については、栄養機能食品、健康機能性食品の充実を図りましたが、ジュース・清涼飲料全体としては、前期を下回る実績にとどまりました。海外については、順次販売エリアを拡大しています。これらの結果、当事業部門の連結売上高は241,352百万円（前期比1.2%減）となりました。

NEWS & TOPICS

2010年 ニュース&トピックス

ビフィズス菌飲料「ミルミル」 生まれ変わって新登場

1978年の発売から2005年の発売中止まで、多くの方々にご愛飲いただいたビフィズス菌飲料「ミルミル」が、このたび、生まれ変わって新登場しました。新「ミルミル」は、当社独自のビフィズス菌「B. プレーベ・ヤクルト株」を1本に100億個以上含み、酸味を抑えた飲みやすいミルク風味が特徴です。2010年3月1日より全国で好評発売中です。

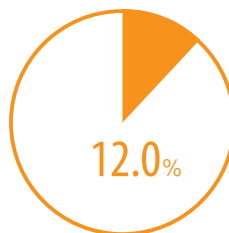
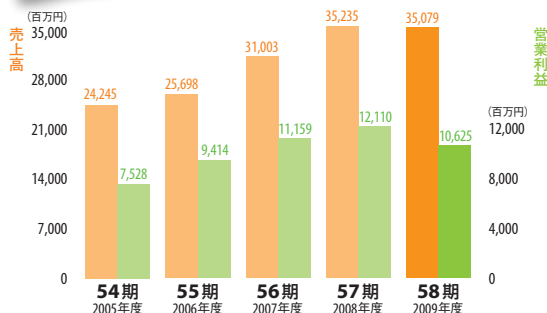


医薬品 製造販売 事業部門

当期

売上高 35,079 百万円
(前期比: 0.4% ↓)

営業利益 10,625 百万円
(前期比: 12.3% ↓)



売上高構成比

国内において、がん化学療法剤「カンプト」および「エルプラット」について、適正使用を推進したほか、制吐剤「シンセロン」の売り上げ増大および活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」のシェア拡大など、がん領域に特化した販売活動に力を注ぎました。海外では、原薬の供給価格を市場実態に柔軟に対応したものにすることで価格競争力を強化し、市場シェアの維持回復に努めました。これらの結果、国内は好調に推移したものの、海外が前期を下回る実績となり、当事業部門の連結売上高は35,079万円（前期比0.4%減）となりました。

「ジョア」期間限定アイテム第2弾 マンゴー風味を新発売

飲 むヨーグルト「ジョア」のシリーズ品として、「ジョア 期間限定 マンゴー風味」を2010年6月1日から9月30日まで全国で発売しています。2009年6月に発売し、ご好評をいただいた「ジョア 夏季限定」(夏みかん風味)に続く期間限定アイテムの第2弾として、お客さまから飲んでみたい味と期待の高い「ジョア 期間限定 マンゴー風味」をお届けします。完熟したアップルマンゴーのトロピカルな香りと、マンゴー特有の濃厚感にヨーグルトのおいしさがマッチした味わいです。



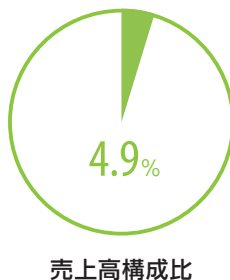
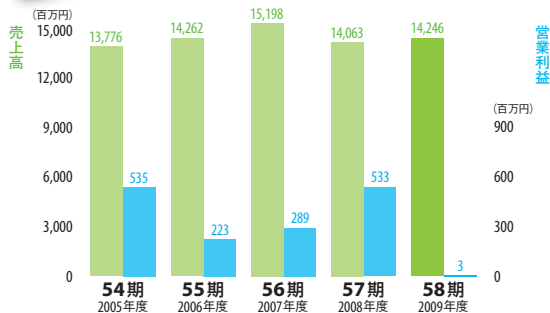
Financial Result by Segments …… セグメント別業績概況

その他 事業部門

当期

売上高 14,246 百万円
(前期比: 1.3% ▲)

営業利益 3 百万円
(前期比: —)



化粧品については、「パラビオ」シリーズおよび「リベシィ」シリーズを中心としたカウンセリング型訪問販売活動を展開しました。また、新たに「リベシィホワイト」シリーズを立ち上げ、お客さま満足度の向上を図りました。この結果、化粧品全体としては、ほぼ前期並みの実績となりました。一方、プロ野球興行については、ヤクルト球団創設40周年の記念イベントや各種キャンペーンを多数開催したことなどにより、入場者数の増大を図ることができました。これらの結果、当事業部門の連結売上高は14,246百万円（前期比1.3%増）となりました。

「パラビオ」のさらなる進化型 スキンケアアイテム9品を新発売

イ ズィングコントロールの「パラビオ」から、肌なじみをさらに向上させたスキンケアアイテム9品を2010年5月6日から全国で新発売しました。また、新規のお客さまに向け、お試しサイズ4品をセットにした「パラビオACセット」を合わせて新発売しました。今回の進化型では、「美しくなりたい」と

いう美容意識の高いお客さまに、よりエイジングコントロール効果を実感していただけるよう、保湿成分「HBヒアルロン酸」「セラミド」「リビジュア®」を配合することで、お肌へのなじみをさらに向上させました。お使いいただくほどに、キメ・つや・ハリとうるおいが実感でき、すこやかなお肌へと導きます。



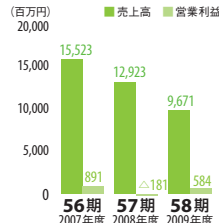
Financial Result by Regions

…… 所在地別セグメント概況



ヨーロッパ地域

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」等をオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリア、イタリアで販売しています。イタリアの販売実績は堅調に推移していますが、既存進出国を中心としたプロバイオティクス市場は厳しい現地経済の影響を受け、ヨーロッパ地域全体で他社との競争が激化しています。



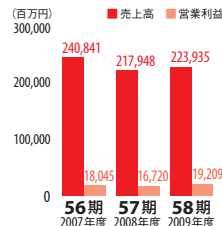
ヨーロッパ地域

売上高 **96 億円**(前期比: 25.2% ↓)



日本

売上高 **2,239 億円**(前期比: 2.7% ▲)

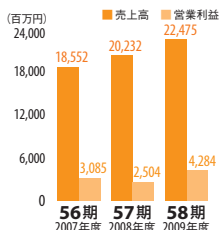


アジア・オセアニア地域

売上高 **224 億円**(前期比: 11.1% ▲)

アジア・オセアニア地域

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インド、中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」等を製造、販売しています。中国では、広州、上海、北京を中心に販売エリアを拡大しています。また華北地区への商品供給のため、天津市に中国で3番目となる工場の建設を開始しました。

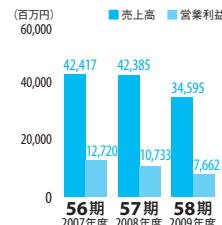


米州地域

売上高 **345 億円**(前期比: 18.4% ↓)

米州地域

米州地域においては、ブラジルおよびメキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」等を製造、販売し、アルゼンチン、アメリカなどでは「ヤクルト」を輸入販売しています。ブラジル、メキシコでは販売本数が伸びましたが、米州地域全体の円換算ベースの売り上げなどについては、円高による為替相場の変動の影響を受けています。



Consolidated Financial Statements …… 連結財務諸表等

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第57期 平成21年3月31日現在	第58期 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	162,402	181,716
現金及び預金	66,352	85,903
受取手形及び売掛金	48,590	49,280
商品及び製品	7,054	7,617
仕掛品	1,903	3,626
原材料及び貯蔵品	22,256	19,859
繰延税金資産	7,588	7,184
その他	9,215	8,860
貸倒引当金	△ 559	△ 615
固定資産	199,499	208,175
有形固定資産	131,320	130,391
建物及び構築物	40,661	47,133
機械装置及び運搬具	27,878	28,944
土地	35,658	33,929
リース資産	15,040	12,676
建設仮勘定	9,026	4,568
その他	3,055	3,138
無形固定資産	4,375	4,941
のれん	722	412
リース資産	150	275
その他	3,503	4,253
投資その他の資産	63,802	72,841
投資有価証券	51,126	60,739
長期貸付金	647	447
繰延税金資産	5,997	4,978
その他	6,359	7,000
貸倒引当金	△ 327	△ 323
資産合計	361,901	389,891

科目	第57期 平成21年3月31日現在	第58期 平成22年3月31日現在
負債の部		
流動負債	93,627	62,913
支払手形及び買掛金	22,845	21,452
短期借入金	36,979	5,106
リース債務	5,171	4,856
未払法人税等	1,174	2,257
繰延税金負債	42	56
賞与引当金	4,738	4,682
工場再編損失引当金	1,027	169
設備支払手形	1,458	2,448
その他	20,188	21,884
固定負債	41,308	78,055
長期借入金	4,388	43,484
リース債務	10,257	8,432
繰延税金負債	2,423	2,581
退職給付引当金	16,394	17,568
役員退職慰労引当金	332	334
工場再編損失引当金	2,095	2,092
その他	5,416	3,561
負債合計	134,935	140,969
純資産の部		
株主資本	241,514	251,907
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	41,135	41,229
利益剰余金	178,214	187,991
自己株式	△ 8,953	△ 8,431
評価・換算差額等	△ 35,866	△ 28,040
その他有価証券評価差額金	△ 1,440	1,160
為替換算調整勘定	△ 34,425	△ 29,201
少数株主持分	21,317	25,055
純資産合計	226,965	248,922
負債・純資産合計	361,901	389,891

連結損益計算書

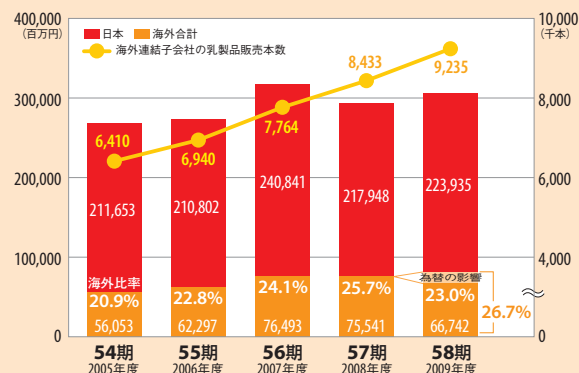
単位：百万円

科目	第57期	第58期
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	293,490	290,678
売上原価	138,632	133,102
売上総利益	154,857	157,575
販売費及び一般管理費	138,113	138,584
営業利益	16,743	18,990
営業外収益	10,284	7,458
受取利息	3,048	1,786
受取配当金	605	571
為替差益	2,675	116
受取ロイヤリティー	494	314
持分法による投資利益	1,451	2,275
その他	2,009	2,394
営業外費用	1,676	1,724
支払利息	920	807
支払手数料	312	53
支払補償費	173	404
その他	270	460
経常利益	25,352	24,724
特別利益	661	606
固定資産売却益	500	559
その他	161	47
特別損失	12,868	3,712
固定資産売却損	63	146
固定資産除却損	662	851
投資有価証券評価損	7,996	11
工場再編損失引当金繰入額	2,910	106
減損損失	—	2,247
その他	1,235	349
税金等調整前当期純利益	13,145	21,619
法人税、住民税及び事業税	5,821	5,700
法人税等還付額	512	—
法人税等調整額	△7,951	△14
少数株主利益	4,464	2,684
当期純利益	11,324	13,248

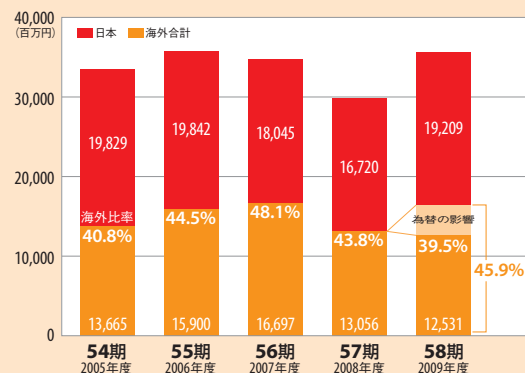
平成22年3月期のポイント

1. 為替の影響が大きく、減収
2. 海外は現地通貨ベースで引き続き好調
3. 国内飲料は増収増益

売上高推移（連結）



営業利益推移（連結）



連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第57期	第58期
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	13,145	21,619
減価償却費	18,570	18,912
減損損失	—	2,247
引当金の増減額(△は減少)	2,430	△49
受取利息及び受取配当金	△3,654	△2,358
支払利息	920	807
持分法による投資利益(△は益)	△1,451	△2,275
固定資産除売却損益(△は益)	224	438
投資有価証券評価損益(△は益)	7,996	11
その他の損益(△は益)	1,278	△52
売上債権の増減額(△は増加)	△3,070	407
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,439	1,384
仕入債務の増減額(△は減少)	338	△1,745
その他資産・負債の増減額	△1,263	3,262
小 計	36,905	42,609
利息及び配当金の受取額	4,356	2,944
利息の支払額	△929	△796
債務保証履行による支出額	—	△1,836
法人税等の支払額	△6,415	△4,132
法人税等の還付額	3,641	745
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,559	39,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,369	△7,376
定期預金の払戻による収入	9,960	8,306
固定資産の取得による支出	△28,078	△20,429
固定資産の売却による収入	1,207	3,922
投資有価証券の取得による支出	△232	△3,155
連結範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△556	△34
子会社株式の取得による支出	△260	△215
貸付けによる支出	△135	△187
貸付金の回収による収入	321	334
その他	114	△1,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,029	△19,970

科目	第57期	第58期
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,485	△32,315
長期借入れによる収入	871	40,060
長期借入金の返済による支出	△1,334	△1,777
リース債務の返済による支出	△5,725	△5,519
自己株式の取得による支出	△14	△7
自己株式の売却による収入	487	1,571
配当金の支払額	△3,872	△3,428
少数株主への配当金の支払額	△1,105	△1,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,208	△2,743
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,551	3,675
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,229	20,497
現金及び現金同等物の期首残高	74,894	62,665
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加	—	27
現金及び現金同等物の期末残高	62,665	83,190

ポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益21,619百万円、減価償却費18,912百万円に加え、たな卸資産の減少があったことにより39,535百万円(前期比1,975百万円の収入増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設および増設による固定資産の取得があったことにより△19,970百万円(前期比5,059百万円の支出減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入があった一方でリース債務の返済および配当金の支払等により△2,743百万円(前期比464百万円の支出減)となりました。

個別貸借対照表

単位：百万円

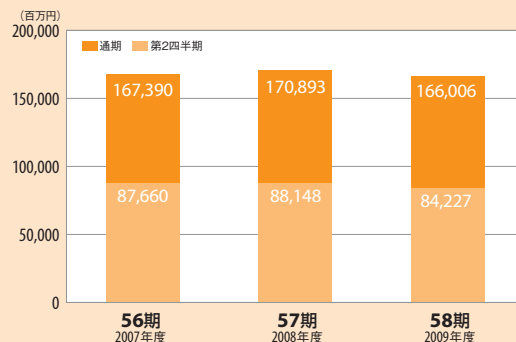
科目	第57期 平成21年3月31日現在	第58期 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	91,340	98,821
固定資産	164,999	164,530
有形固定資産	71,031	65,218
無形固定資産	3,192	3,834
投資その他の資産	90,776	95,477
資産合計	256,340	263,351
負債の部		
流動負債	81,186	47,327
固定負債	22,437	62,060
負債合計	103,624	109,387
純資産の部		
株主資本	154,376	153,131
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	40,659	40,659
資本準備金	40,659	40,659
利益剰余金	89,975	88,738
利益準備金	7,779	7,779
その他利益剰余金	82,196	80,959
特別償却積立金	—	111
固定資産圧縮積立金	740	731
固定資産圧縮特別勘定積立金	—	215
別途積立金	81,000	76,200
繰越利益剰余金	455	3,700
自己株式	△7,376	△7,383
評価・換算差額等	△1,660	832
その他有価証券評価差額金	△1,660	832
純資産合計	152,716	153,963
負債・純資産合計	256,340	263,351

個別損益計算書

単位：百万円

科目	第57期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第58期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	170,893	166,006
売上原価	105,969	99,912
売上総利益	64,923	66,093
販売費及び一般管理費	61,294	61,121
営業利益	3,629	4,972
営業外収益	7,401	7,541
営業外費用	1,068	761
経常利益	9,962	11,752
特別利益	309	472
特別損失	13,339	8,205
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△3,067	4,018
法人税、住民税及び事業税	222	1,435
法人税等還付額	325	—
法人税等調整額	△1,529	368
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,434	2,214

売上高推移（個別）



Product Lineup …… 商品紹介

ヤクルト類（乳酸菌飲料）



▲ヤクルト ▲ヤクルトカロリー-half ▲ヤクルト400 ▲ヤクルト400LT ▲ヤクルト300V

◀ヤクルトSHEs
(シース)

▼食べる
ヤクルトSHEs

その他の乳製品



◀ミルミル

生きて腸内に届く
ビフィズス菌を、1
本に100億個以上
含んだ、のむタイ
プのヨーグルトで
す。飲みやすい
ミルク風味に仕上
げています。



◀BF-1

ストレス社会で生
きる、現代人のた
めに開発した、ビ
フィズス菌 (B.ピ
フィダム BF-1株)
を使用した、乳製
品乳酸菌飲料です。

▼**ジョア** (ブレン、ストロベリー、ブルーベリー、白ぶどう、マンゴー風味)
腸内で有用な働きをする乳酸菌シロタ株が入った、のむヨーグルトです。



◀Bifiene S

生きて腸内にとどくビ
フィズス菌を1本に100
億個以上含んだ、のむ
ヨーグルトです。ガラ
クトオリゴ糖、食物繊
維、鉄、葉酸、コラー
ゲンなどが摂取でき
ます。ヨーグルトフ
レーバーの、甘みを
抑えた風味に仕上
げています。



◀プレティオ

血圧降下作用を有
するGABA (γ-ア
ミノ酪酸) を1本に
10mg以上含む、血
圧が高めの方にお
すすめの乳製品乳
酸菌飲料です。

▶ピュアラ (アロエ、ピーチ)



▼ソフール (ブレン、ストロベリー、LT)



ジュース・清涼飲料

健康機能性食品



◀ 蕃爽麗茶

グアバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適した健康茶飲料です。

フコイダン茶▶



▼ ルチンそば茶



▼ アヤムラサキ



▲ タフマンシリーズ



◀ 黒酢ドリンク

純米熟成黒酢を100%使用し、うめ果汁、はちみつを加え、飲みやすく仕上げました。

紫の
おいしいお酢▶



▼ ぎゅっと健康シリーズ



▼ 銀杏葉 ドリンク



▼ ハイライン



▼ グロビン ONE



◀ ミルージュ Ca プラス



ミルージュ
ソーダ▶

▼ ラックミーシリーズ



◀ 調製豆乳 国産大豆使用

▼ レモリア

テアニン（緑茶の旨味成分）を含み、レモン果汁と7種のハーブエキスが程良く調和したリラックス飲料です。



ソーパードシリーズ▶

運動時に脂肪燃焼に適した環境をつくって維持する「低GI」の働きを活かしながら、低カロリーで後味すっきりなスポーツドリンクです。



健康食品



◀ 毎日の青汁



▲ ハイクロレラ

▼ ロイヤルゼリー



▲ マイタイム



▲ ウコン粒

▼ アミノパーフェクト
トータルサポート



▲ まろやかケール

▼ サプリズムシリーズ

(コラーゲン、PS、フコイタン、マルチビタミン、カルシウム、鉄、グルコサミン)



▲ BBcube



葉っぱのミルク▶



▲ ケールのめぐり

めん類

▼ 麺許皆伝シリーズ

(しょうゆ味、みそ味、しお味、ソース焼そば)



▼ 神崎めんシリーズ

(そうめん、ひやむぎ、中めん、うどん、そば)



▼ 手延そうめん



Product Lineup …… 商品紹介

医薬品（医療用医薬品）

医療用医薬品



その他医薬品

ヤクルトBL 整腸薬シリーズ



▲ヤクルトBL 整腸薬S錠



▲ヤクルトBL 整腸薬



▲アロエ錠「MY」



▲アイのチカラ

化粧品

スキンケア



▲パラビオ

(左から) ▶
ゴールドSEローション
マリンバイタル
アクアバランス



▲リベシィ



▲リベシィホワイト



ボディケア

POSHMAMA シリーズ



薬用 ▶
ハンドクリーム



◀ 薬用UVカット
ハンドクリーム

さらさら ▶
サンスクリーン

メイクアップ



◀ パラビオ

グラントピア ▶



ヘアケア

navian シリーズ

(左から) ▶
マイルドシャンプー
マイルドリンス



Globalizing the Yakult Network ヤクルトのネットワーク

現在、海外27の事業所を中心に、
日本を含む32の国と地域で
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており
世界中で毎日2,500万人の方々に
ご愛飲いただいています。

【海外事業所一覧】

ヨーロッパ地域

ヨーロッパヤクルト株式会社
オランダヤクルト販売株式会社
ベルギーヤクルト販売株式会社
ドイツヤクルト販売株式会社
イギリスヤクルト販売株式会社
オーストリアヤクルト販売株式会社
イタリアヤクルト販売株式会社
ヤクルト本社ヨーロッパ研究所*

*台湾ヤクルト株式会社、タイヤクルト株式会社、韓国ヤクルト株式会社、フィリピンヤクルト株式会社、ヤクルト本社ヨーロッパ研究所以外は連結子会社です。

株式会社ヤクルト本社



ヤクルト本社

★本店：1 ■支店：5
◆研究所：1 ▲工場：9

●販売会社120社
(うち連結子会社23社)

●瓶詰会社6社(連結子会社)

ヤクルトレディ 約43,000人
ヤクルトビューティ 約8,000人

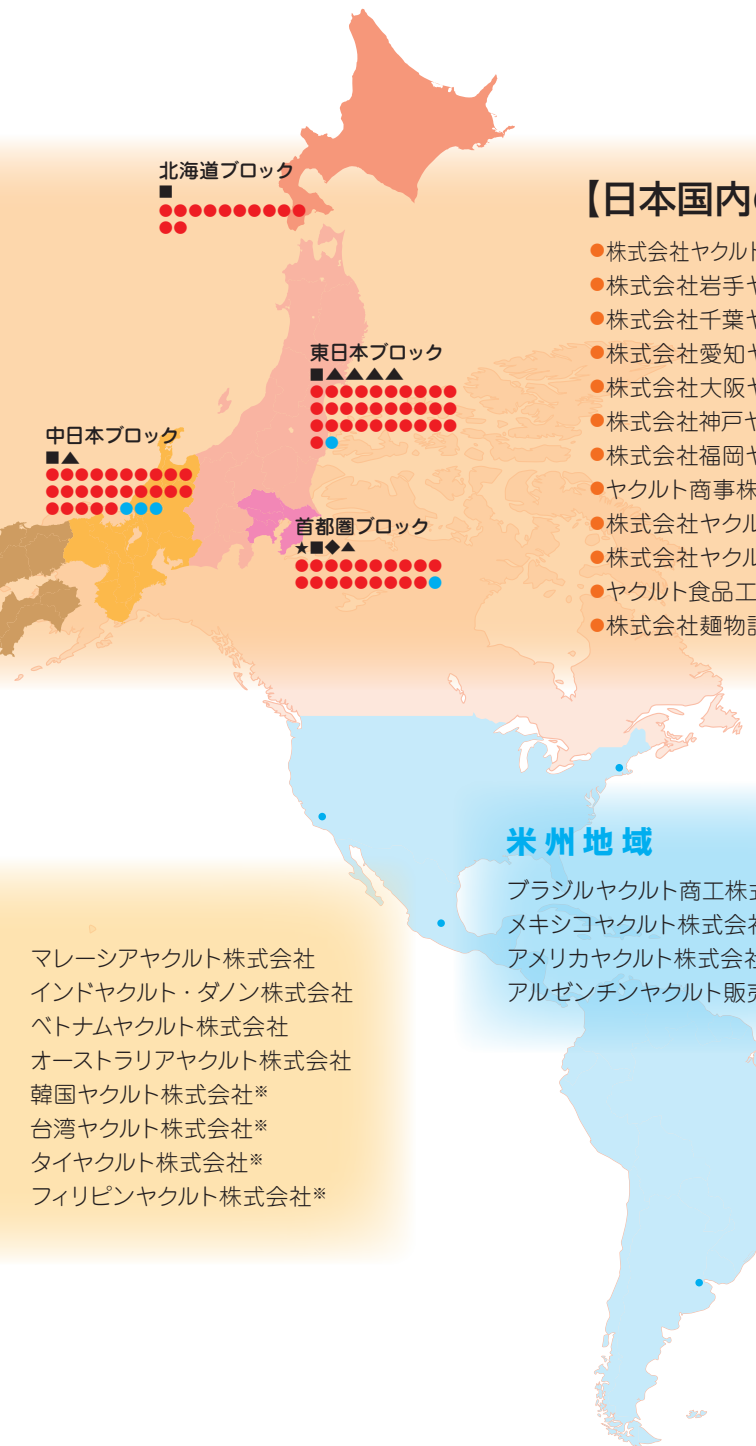
※支店数は2010年4月1日現在

西日本ブロック



アジア・オセアニア地域

香港ヤクルト株式会社
広州ヤクルト株式会社
上海ヤクルト株式会社
中国ヤクルト株式会社
北京ヤクルト販売株式会社
上海ヤクルト販売株式会社
インドネシアヤクルト株式会社
シンガポールヤクルト株式会社



北海道ブロック



東日本ブロック



中日本ブロック



首都圏ブロック



【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社大阪ヤクルト工場
- 株式会社神戸ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- 株式会社麵物語本舗
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ビー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 東日本ヤクルト物流株式会社
- 中央ヤクルト物流株式会社
- 西日本ヤクルト物流株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
(2010年6月1日に社名変更)
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 神奈川東ヤクルト販売株式会社
- 新潟ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 高山ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 福井ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

米州地域

- ブラジルヤクルト商工株式会社
- メキシコヤクルト株式会社
- アメリカヤクルト株式会社
- アルゼンチンヤクルト販売株式会社

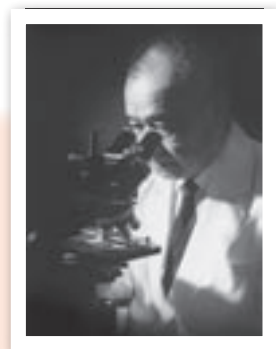
- マレーシアヤクルト株式会社
- インドヤクルト・ダノン株式会社
- ベトナムヤクルト株式会社
- オーストラリアヤクルト株式会社
- 韓国ヤクルト株式会社*
- 台湾ヤクルト株式会社*
- タイヤクルト株式会社*
- フィリピンヤクルト株式会社*

乳酸菌とともに



乳酸菌とともに、75年。

Yakultは乳酸菌とともに75年。
これからも乳酸菌のチカラを皆さまのもとへお届けします。



健康への情熱、発想 「世界の人々の健康を守りたい」

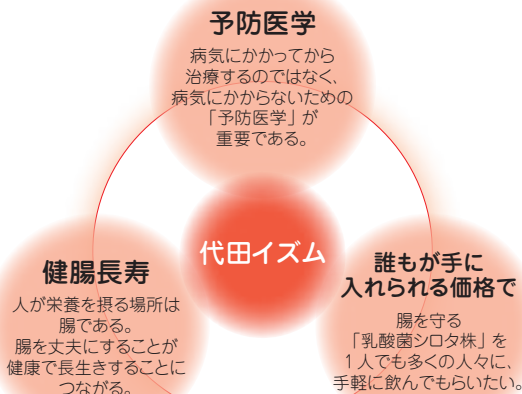
ヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔が京都帝国大学（現在の京都大学）で医学の道を歩みだしたのは1921年。その当時日本はまだ豊かとはいえず、衛生状態の悪さから感染症で命を落とす子供たちが数多くいました。

そんな現実にも胸を痛めていた医学生時代の代田は、病気にかかってから治療するのではなく、病気にかからないようにする「予防医学」を志し、微生物研究の道に入ります。そこで乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発見、これをさらに強化培養することに世界で初めて成功します。それが、今日「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれる学

術名 ラクトバチルス カゼイ シロタ株という乳酸菌です。その後、代田は、生きて腸内に到達し、有用な働きをする「乳酸菌 シロタ株」を、一人でも多くの人々に摂取してもらうため、有志とともに安価でおいしい乳酸菌飲料として製品化します。

そして1935年、乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生しました。世界の人々の健康を守りたい。

代田 稔の情熱と発想、飽くなき探究心は、今も、脈々と受け継がれています。



【ヤクルトのあゆみ】

1935
「ヤクルト」の製造・販売を開始



1963
ヤクルト独自の婦人販売店システムを導入

1930
代田稔博士が人の健康に役立つ乳酸菌の強化培養に成功（乳酸菌 シロタ株）

1955
株式会社ヤクルト本社を設立（東京都中央区西八丁堀）

1968
プラスチック新容器による「ヤクルト」を発売

1970

はっ酵乳「ジョア」を発売



1978

ビフィズス菌の直接培養による
はっ酵乳「ミルミル」を発売



1979

一般用医薬品「ヤクルト整腸薬」を発売

1994

がん化学療法剤CPT-11が医薬品製造承認・発売される。商品名「カンプト注」



2008

「ヤクルト400LT」を発売



2005

抗悪性腫瘍剤オキサリプラチンが輸入承認・発売される。商品名「エルプラット」



1999

「ヤクルト400」を発売。「ヤクルト400」は、「特定保健用食品」として表示を許可される。

1981

東京証券取引所市場
第一部に上場指定

1980

東京証券取引所市場
第二部に株式を上場

1995

新高級基礎化粧品
「パラビオ」シリーズを発売

～おかげさまで乳製品販売実績が1日平均2,800万本を記録～

1935年に1本のヤクルトから始まった当社は、「世界の人々の健康を守りたい」との考えのもと、商品ラインナップを充実し、販売地域を拡大してまいりました。

お客さまのご支援により2009年6月には、全世界での乳製品販売実績が1日平均2,800万本を記録するに至りました。

今後も世界中の人々の健康にお役に立てるよう、より一層精進してまいります。



会社概要

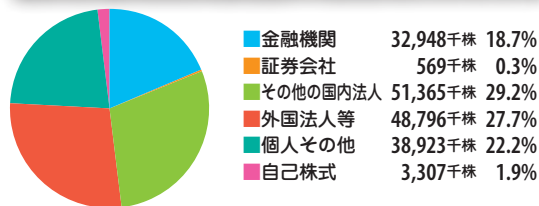
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574) 8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,872人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者338人および嘱託99人を含んでいます。

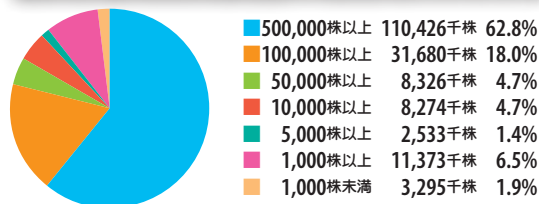
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………28,484名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員 (2010年6月23日現在)

代表取締役社長 堀 澄也	取締役 椎野 健一	取締役 池上 昭二
専務取締役 川端 美博	取締役 田中 良明	取締役 竹村 雅行
専務取締役 衣笠 剛	取締役 菊池 清隆	取締役 荒木 敏博
専務取締役 甲斐 千束	取締役 若林 宏	取締役 阿部 泰久
専務取締役 根岸 孝成	取締役 田中 正喜	常勤監査役 大坪 勝己
常務取締役 村田 泰文	取締役 石川 文保	常勤監査役 田中 竹義
常務取締役 根岸 正広	取締役 伊藤 正徳	監査役 中村 輝夫
常務取締役 阪本 重善	取締役 ジャックヴァンサン	監査役 奥平 哲彦
常務取締役 成田 裕	取締役 スヴェントマレン	監査役 角屋 良平
常務取締役 澤田 治司	取締役 安田 隆二	監査役 池田 雅彦
取締役 阿部 晃範	取締役 リチャードホール	監査役 谷川 清十郎

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エムエルピーエフエス ノミニー・ダノン アジア ホールディングス プライベートリミテッド	35,212	20.02
松尚株式会社	11,530	6.55
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
共進会	4,018	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,205	1.82
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,043	1.73
日本生命保険相互会社	2,920	1.66
麒麟ビバレッツ株式会社	2,458	1.40
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式3,307千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境対策などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さま向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま

- 当社「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を進呈（※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります）。
※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で主催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで（開幕～6月で1試合＋7月以降で1試合）。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。
※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告掲載方法	電子公告 http://www.yakult.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
(郵便物送付先) 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関する手続きについて

株券電子化にとまない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など
お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード`2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表) <http://www.yakult.co.jp/>



本報告書は、環境保全のため再生紙を使用し、
「大豆インキ」で印刷しています。